泉岳窯 風だより

〇三七号

泉ヶ岳
陶の店
無我久庵
379-0506

紅葉前線 只今南下中

岳山のいろどり 全速力で山下る

コロナ・コロナで始まった春。少ない雪の山裾でしたが，不順な天候の早春でした。やがて訪れた待望の夏，残念なことに高温多湿の連続で，山道もジメジメの酷暑でした。

山の頂がほんのり染まり始めた初秋。でも，もみじ前線はなかなか降りてきませんでした。

ところがここ最近，山の色は日に日に移り変わり，赤・黄の彩りが常緑樹の緑を引き立てています。

泉ヶ岳は紅葉の映える雑木が少なく，他の景勝地ほどの錦秋を満喫する風情とはなりませんが，旧青年の家を過ぎてスプリングバレーまでの二キロの山道は，無我久庵おすすめの絶景！

今年は栗も桃も不作でした。昨年は採れ過ぎの大豊作。豊作の翌年は必ず実付きが悪く，樹木を養生させます。地球の中の生物もコントロールしながら，収支を合わせ有っているのです。今年は，お客様にお採っていただく栗もだいぶ少なかったようです。例年これからが見頃の岳山の紅葉も，十一月の中旬で今年は終わりを迎えそうです。最後の紅葉。お楽しみ下さい。 健

高原野菜・販売中

予約も好調

豪雨と酷暑に耐えた野菜

今年も，春から一年中，不織布の布で覆い，丹精込めて採取中。晩秋の中，岳山の環境に適した野菜は，今・生育真っ盛りです。

大根・ハクサイ・サトイモ・赤辛子菜・ミズ菜・・・。

十一月上旬から販売を開始しますが，市販の半額を目安にお分けしようと意気込んでいます。特に秋の野菜は開店と同時になくなる事もあります。ご予約していただければ，安心かも知れません。 健

山小屋奥の畑で，完全隔離で種のみを作っている無我久庵の野菜。

案内板

会員のための得々コース
11月から3月までサービス

11月 秋野菜特別ランチ
お食事メニュー（和風中華そば）
■冬を装ううつわ展
陶芸得々コース開設
珈琲無料優待券贈呈
新酒販売予約受付

12月 冬休み陶芸体験企画
お食事メニュー（和風中華そば）
陶芸得々コース開設
親子陶芸体験
新酒販売解禁（12/31）

1月 珈琲無料優待券贈呈
お食事メニュー（和風中華そば）
格安ランチ付き陶芸体験
■ 早春を彩るうつわ展
新酒を愛でる宴（要予約）

2・3月 珈琲無料優待券贈呈
お食事メニュー（和風中華そば）
格安ランチ付き陶芸体験
雪を観る茶会と鍋会食

大晦日・限定・要予約
歳納め・年越しそばの会
コロナ対策万全！！です

十二月三十一日・十一時～十七時
年越し蕎麦セット（七百円）
ざるそば
純生甘酒
山菜小鉢
ヘルシーサラダ
お口取り
風呂吹き田楽
お新香

進呈品
招福ぐい呑み（陶製・風雅杯）
宮城の伝統歳神（御正月様）
当日より新酒・岳冠雪販売開始
岳冠雪・600円 健

（要予約）
陶芸体験
得々コース
十二月より三月まで
静かな冬こそ作陶の時

期間 十二月～三月末
陶芸体験 千五百円
ランチ・ド・コース 二千円
（陶芸体験とランチのセット）
ライトコース 千八百円
（陶芸体験とそばのセット）
親子陶芸体験 三千円
（ドリンクサービス二本）
■二日前迄に予約が必要 幸

新酒予約受付
岳冠雪 九月醸造開始
本数限定・予約は早めに
5本購入で多様途皿進呈

十二月三十一日・歳納め年越しそばの会と同時に、発売解禁です。
雪洞の中で醸成し，濃いうま味が自慢です。五本セットでお求め頂きますと特製，一器多様皿・一ヶ進呈
価格 500㎖・六〇〇円
予約受付・十一月から受け付けます。
お早めにご予約下さい 幸

四季折々

祝・創業十一年目・無我久ANN

無我久庵も開店十一年。はじめは今の場所から3キロ山に入った，コンコンとわき水の出るクラインガルテンの別荘内に，趣味の陶芸室として山小屋を作ったのが始まりです。

自称・都会のマタギを自認するオーナーは，当時鉄砲片手に山中を走り回ったハンターでしたが，なぜか殺生が苦手です。

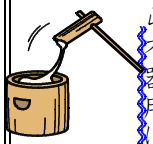
切り株に腰掛け，ウサギやテンが恐る恐る近づいてくる時が至福の時です。

春先，手作りの巣箱にシジュウカラが巣作りを始めます。それからの一ヶ月が感動の連続です。卵が孵ると親鳥は夫婦交代で子を守りますが，そこには決められた儀式があるようです。巣箱の小窓から顔を出し，周囲を慎重に見渡し，外敵の有無を確かめ，小さく「イツテクルヨ！」と声をかけ，オス鳥がエサを求めて飛び立ちます。

やがて口いっぱいにエサをとった親が，器用にも，巣の中に入るヨ！と声をかけます。その時も慎重です。周囲を丹念に確かめ，外的から巣を守りながら，子にエサを持ち帰ります。

こんな光景が二十日ほど続きますが，ある日突然に親鳥の行動が変わります。

外的から身を守り，巣を守ることにあれほど用心深く，慎重だった親が，周囲も気にせず巣箱の窓から忙しく飛び去り，またエサを持ってせわしく戻ってきます。出入りに注意などする余裕もなく，急ぎながらのエサとりと，エサの持ち帰りが続きます。おそらく，一生懸命に子にエサを大量に与える為の行動です。それから数日後，親鳥の行動が突然変わります。あれほど大量にエサを子に運んでいたのに，全くエサを与えません。このまま子は餓死するのではとマタギは心配です。巣箱の近くの枝でオスとメスはけたたましく泣き叫びます。二日後のことです。感動的な場面が始まります。やがて一羽の子が窓から顔を出し，周囲を見回します。親は子の前で自分が羽ばたきをして見せます。羽が高速で動き，白く見えます。羽が白いと書いて習う。子はここで巣立ちを習うのです。やがて五匹の子は窓から不器用に巣立ちます。これが習いです。 健



ゆとり炉無我久庵　泉ヶ岳山麓
陶芸教室ゆとり炉　長命ヶ丘
泉岳窯ゆとり炉　泉ヶ岳離宮